

原子炉利用研究者グループ総会 議事録

(1) 日時：平成24年3月2日(金) 12:30~13:00

(2) 場所：京都大学原子炉実験所 事務棟大会議室

(3) 配付資料

1. 原子炉利用研究者グループ平成23年決算報告書
2. 原子炉利用研究者グループ平成24年度予算(案)

(4) 議事

1. 代表幹事挨拶 [海老原先生(首都大)]

研究炉を含む共同利用設備がより良い研究・教育活動に用いられるように、利用者の方から声を上げる事の重要性について説明があった。

2. 平成23年度事業報告 [徐先生(京大炉)]

共同利用宿舎の1階と2階の談話室に地デジ対応のテレビが設置され、各部屋のテレビは今年度中に廃棄予定であると報告があり、承認された。

3. 平成23年度会計報告 [徐先生(京大炉)]

資料1に従い平成23年度の会計報告がなされた。福本先生(東北大)により監査が実施されたことについて報告があり、承認された。

4. 名誉会員の推薦 [徐先生(京大炉)]

名誉会員の基準について質問があった。名誉会員は原子炉実験所及び原子炉利用研究者グループ幹事会が推薦し、総会で承認された者とするとの回答があった。皆川 雅朋先生(山形大学工学部)、斎藤 直先生(大阪大学RI総合センター)、馬原保典先生、渡邊正己先生、山崎敬三先生(京大炉)が該当しており、承認された。追加で該当者がいる場合は後日幹事会に連絡してほしいとの依頼があった。

5. 平成24年度の活動 [徐先生(京大炉)]

運営委員会委員候補者、共同利用研究委員会委員候補者、幹事の選挙の予定について説明があった。9月に投票用紙を有権者(共同利用申請者、研究会の所外責任者)に郵送し、選挙の情報はメールとホームページにて周知する予定。10月ごろに投票、10月下旬に開票結果を開示する予定であるとの報告があった。

6. 平成 24 年度予算案について[徐先生（京大炉）]

資料 2 に従い平成 24 年度予算案が紹介された。

7. その他

- ・高宮先生（京大炉）より、研究員宿泊所の地デジ化対応に関して報告があった。
 - ・予算が無いので、各部屋の地デジ化は行わないが、利用者からはテレビを設置して欲しいとの要望があるので、今後も検討していきたい。
- ・高宮先生（京大炉）より共同利用見直し WG の立ち上げについて報告があった。
 - ・共同利用手続きの方法のシステムが煩雑になっていて、特に初めて来られる方が戸惑われることがある。システムの見直しを行うためのワーキンググループを立ち上げる予定である。
 - ・共同利用研究の環境や、共同利用宿舎などの衛生面に関する生活環境について改善すべきところも WG で検討したい。例えば、共同利用宿泊所のエアコンの改修、ホットラボ入口の控室の改善や、研究棟の共同利用者控室の水回りの新設などである。改善するための予算が無いことから、予算を工面する方法について意見を聞きたいとの依頼があった。

実験に必要な消耗品については申請してもらい、支給していくべきであるが、テーマごとに割り振られている消耗品費を集約して環境整備に使用してはどうかという案が出された。この消耗品費の使い方については共同利用見直し WG に一任していただいてはと川端先生（京大炉）から提案があり、一任することについて承認された。

以上

文責：田中、北尾、堀